

うちどく(おうちで読書)のすすめ

～「うちどく」でことばの力を育て、心を磨きましょう～

「うちどく」とは

家庭で子どもといっしょに読書する時間を持ち、本を中心として会話したり、記録したりする取組を、「おうちで読書」略して「うちどく」として推進しています。

「うちどく」の方法は

進め方に特に決まりはありません。家庭の事情や発達年齢に応じて、1週間に1日、30分から1時間程度、テレビを消して、パソコンを閉じて、家族一緒におうちで読書する習慣を定着させることを願うものです。

期待する「うちどく」の効果とは

- ・ 家族一緒に過ごす時間が増えます。家族や親しい人と本の内容について語り合う経験を重ねることが、子どものこころを潤し耕していきます。
- ・ 本を中心に、読む・書く・伝え合う・暗唱するなどの総合的な「ことばの力」を育てていくことができます。
- ・ 読書を続けることで、子どもに人間の生き方や社会・自然についての正しく豊かな見方、考え方、感じ方を身につかせます。それは、やがて子どもの心に「徳」となって根付いていきます。

